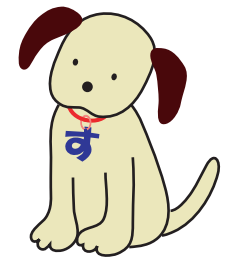


僕はこうしたい！

～横須賀を『福祉のまち』へと変えていきます！～



1 声にならない声に耳をかたむけます

障害をもって家から出られない、
ひとり暮らしの高齢の方、
いろいろな事情で学校にいかない子どもたち。
この街に、あなたの『想い』は届いているのでしょうか。
どんなせまい路地にも
どんな山の奥にも、僕はとびこんでいきたい。
そしてその声に耳を傾けて
この街の政治に、あなたの『想い』を反映させていきます。

2 障害をもつ人の暮らしをふつうにします

こころの病をもつ人、からだの病気をもつ人、
人の数だけ、当たり前のこととして状態は違います。
しかし、いいかげんにしろと叫びたいくらいに
この街で暮らしていくことは大変です。
まともな病院が無いから東京まで行かないといけない。
ここではリハビリもできないから横須賀を出る。
そういうマイナスな状態から
この街を『ふつう』にします。
最終的には、あらゆる障害をもつ人々が
「横須賀で暮らしたい」と全国から引っ越したくなる
そんな街をめざします。

【ふじの ひであき（28才） 略歴】

早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専修 卒業
臨床心理学・精神保健福祉を専攻する
某映画会社に入社
映画興行の現場で2年間働く
本社へ異動して3年間、財務部で資金計画や運用を担当
ボランティア団体『こころのホットライン』を設立

【あなたの話をきかせてください】

僕の活動の基本は
あなたの話をきかせてもらうことです。
かつて政治家があなたの言葉に
きちんと耳をかたむけたことがありますか？

毎日の暮らしの中で感じる事、不安に思うこと、
横須賀をおもしろくするためにこうしたいと考えてること、
どんなことでもきかせてください。
僕は待っています。あなたの話をきかせてください。

Eメール omosirokusurukai@yahoo.co.jp
電話番号 070 (5372) 1881

【ホームページもぜひごらんください】

仲間たちと僕は、毎日更新のHPを作っています。
僕は『すかぼち』というペンネームで編集長をしています。

インターネット日刊新聞『すかぼち新聞』紙上で
毎日の活動をすべて報告しています。
また「政治には金がかかる」とよく言われていますが
それが何故なのか、本当なのかを知るために
活動の中でつかったお金を全て1円単位まで
情報公開しています。

『すかぼち新聞HP』 <http://hfyksk.tripod.co.jp>

この中の『すかぼち日記・特別編』をごらんください。

一緒に横須賀を面白くしよう！

【僕が政治をこころざすワケ】

政治家になりたいヤツなんてロクやヤツじゃない。
流れてくるニュースはいつも政治家の汚職ばかり。

ずっとそう思って僕は生きてきました。
つまり、あなたと同じです。

僕はこれまでずっとボランティアとして
福祉活動にかかわってきました。

また、インターネット新聞をつくって
同じ若い世代が努力して独立したりお店をひらいたり
世界に通用するようなスキルを持っている姿を
世間に知ってもらうために活動してきました。

つまり、政治なんかとは無関係に自由に活動してきて
そのほうが横須賀をおもしろくできると信じて
毎日楽しく暮らしてきたのです。

だけど、ある悲しい出来事がありました。

ひどい福祉の現実です。
もしもこの街の福祉がもっとまともだったなら
あるいはもしも僕自身ももっとがんばっていたならば
この悲しい出来事は防げたかもしれない。

とてもとても悩んで、苦しみました。
もうボランティアではまにあわない。
外野席でわめいているだけでは何も変わらない。
この悲しい出来事は防げたかもしれない。

だから僕は政治の道を選ぶことにしました。
政治が何かを変えられる、そんなことはウソです。
だけど、何かを変えるきっかけになれるのは事実です。

この街で今日も明日もハッピーに暮らすために
僕は政治の道を選びました。
あなたと僕と、同じ街に暮らすみんなが
ハッピーでいつづけられるために。

横須賀をおもしろくする会・代表

藤野英明

